パブリックコメントに寄せられたご意見への回答

No.	意見箇所	意見提出者	ご意見	回答
1	第6章 府中市食育推進計画	在住者	<p>p63 第6章 府中市食育推進計画（第4次）</p> <p>1 基本理念 みんなでいただきます おいしい！！楽しい！！が元気の素 地産地消を通じた地域の食文化・食生活への理解促進</p> <p>p67（4）地産地消を通じた地域の食文化・食生活への理解促進</p> <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土料理や地元食材を利用した給食の提供 ・ 食生活改善推進員による地元食材を使った料理講習会の開催 ・ 道の駅を通じた地産地消や地場産物の販売推進 <p>上記のp63およびp67について、郷土料理、地産地消活動に、府中市内のイノシシなどのジビエを取り入れたらいいのではと考えます。そのための施設、設備が府中市内に必要にはなりません。いかがでしょうか。</p>	<p>ジビエ料理を郷土料理や地産地消活動に活用するための体制や施設などはなく、現時点で構想もありませんので、本計画に取り入れることは難しいと考えます。</p> <p>食育推進計画とは違った視点で検討してまいります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
2	第6章 府中市食育推進計画	在住者	<p>P63 第6章 府中市食育推進計画(第4次) を実行するために掲げた5つの取組は、どれも大切な方針で、その筆頭には健康寿命の延伸を置き、行動計画には各項目の普及・啓発に務めることが表記されています。高齢化が進む府中市の実態を踏まえた設定であり、食生活改善推進員と連携して、という文言も随所に見られ、この計画が実行されるよう市民として、食生活改善推進員として微力ながら協力したいと思います。</p> <p>その上で以下の意見と質問をします。</p> <p>「意見」</p> <p>健康ふちゅう21(第2次)計画の履行にあたり、府中市民病院内にある「食Naviレストランこもれび」は府中市の食育行政の大きな柱の一つとして機能してきたではありませんか？府中市の食育憲章が掲げられた数少ない施設であり、通院者のみならず病院職員の皆さんの健康的な食事の場、障がい者の就労支援や近隣住民の孤食防止と、その役割は多岐にわたってきたはずで、食生活改善推進員の学習会でも食育推奨メニューが提供されていると聞いたので私も利用し、普及・啓発の場としての大切さを実感しました。ところが、この「食Naviレストランこもれび」が2025年2月28日をもって突然閉鎖するとのことで驚いています。「食Naviレストランこもれび」が第3次計画の実現にとってさらに活用されるべきところが、これまで担ってきた複合的な役割の成果、課題、解決の検証、閉鎖した場合の代替案等の提示なき閉鎖は市民として、また食生活改善推進員として納得できるものではありません。</p>	<p>これまで食育の推進拠点として府中市民病院内の『食Navi レストランこもれび』で健康食の提供や情報発信に取り組んできましたが、限定的な発信にとどまっております。食育拠点としての十分な役割が果たせておりませんでした。また、レストラン利用者の減少に伴い、採算面においても今後の継続的な運営が困難な状況であることから、総合的に判断し、食育の発信拠点としてのレストランの廃止を決定したものです。</p> <p>今後は、食育推進発信の場を特定の場所に固定するのではなく、学校や通いの場など、ライフステージに応じた様々な機会での食育の啓発を進め、食環境づくりの取り組みを推進したいと考えております。</p> <p>貴重なご意見、ありがとうございました。</p>